

研究主題

児童を中心としたカリキュラム・マネジメント
～自由進度学習の可能性を探る～

マイプラン・タイム（2教科2単元）

第3学年 国語科・理科学習指導案



本校では単元内自由進度学習を
『マイプラン・タイム』と呼んで
いるよ。

実施期間：令和7年6月9日～6月30日

対 象：第3学年 89名（特別支援学級含む）

場 所：第3学年教室・教室前廊下・アクティブルーム

授 業 者：首藤涼一郎 鮎川祐貴 細田龍 久保愛喜

1 単元名 国語科 「仕事のひみつをさがせ大作せん！」

（国語 三上 わかば 光村図書「仕事のくふう、見つけたよ」）（7時間）

理科 「風やゴムのはたらき」（新しい理科 東京書籍）（6時間）

2 単元の目標

国語科

◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。

○改行の仕方を理解して文や文章の中で使う。

○段落の役割について理解することができる。

○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。

理科

風とゴムの力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら、風とゴムの力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする能力を育成する。

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
国語科	改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、段落の役割について理解している。	「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
理科	風の力は、物を動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 ゴムの力は、物を動かすこと	風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、風とゴムの働きについての問題を見だし、表現している。	風とゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、問題解決しようとしている。 風とゴムの力の働きについて学んだことを、学習や生活に生かそ

<p>ができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。</p> <p>風とゴムの力の働きについて器具や機器を正しく扱って観察実験し、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>	<p>風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、得られた結果を基に考察したことを表現している。</p>	<p>うとしている。</p>
---	--	----------------

4 指導観

(1) 単元観

国語科 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

国語〔第 3 学年及び第 4 学年〕 2 内容

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第 3 学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。

カ 主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

B 書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

本単元では、仕事の秘密を探すということを活動の目的としている。「仕事」における様々な事柄の中から、多くの人にあまり知られていない点を探して伝える活動を通して、目的を意識して書く内容を選ぶ力を養う。文章を書く際には、伝えたい事柄を明確にするため構成を提示し、具体的な描写をすることがポイントとなる。写真を挿入する際にも、内容とよく合ったものを選ばせられるようにする。

日常生活の中で、児童は様々な職業に触れている。その体験を人の「仕事」として捉え直し、その仕事に就いている人が工夫していること、その仕事に就いていない人には広く知られていないことや道具などを「ひみつ」として、これを探す機会とする。これまで何気なく見てきた仕事から、新たな発見ができる楽しさを味わえるようにする。

また、「書くこと」の学習過程を児童自身が意識できるようにして、自ら学習計画を立てたり、進捗状況を捉え計画を見直したりすることができるようにする。

理科 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

理科〔第3学年〕 2 内容

A 物質・エネルギー

(2) 風とゴムの力の働き

風とゴムの力の働きについて、力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。

(イ) ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。

イ 風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、風とゴムの力の働きについての問題を見だし、表現すること。

本単元は、「エネルギー」についての基本的な概念等を柱とした内容のうちの「エネルギーの捉え方」に関わるものであり、第5学年「A（2）振り子の運動」の学習につながるものである。

量的・関係的な視点で結果を捉え、結論を導き出していく考え方を身に付けていくための最初の単元である。そこで、風の強さを変えることによる、車の動く様子や距離を比べるようにする。同様に、ゴムの伸ばし具合を変えることによる、車の動く様子や距離を比べさせるようにする。そうすることで、風の強さやゴムの伸ばし具合が、車の動く様子に関係していることを理解できるようにする。また、風の力と、ゴムの力の差異点と共通点に注目して、予想や考察をさせる。そうすることで、結論を導き出していく考え方の素地を養うよう、実験では結果を複数回集めることの必要性や、表やグラフにまとめることのよさに気付くことができるようにする。また、同じ車、同じ場所、同じ人間による実験でも、車の動く様子に違いが表れる。複数回実験をすることで、より妥当な結論を見いだすことができることに気付かせる。さらに、得られた多くの結果を表にまとめ、そこからどのようなことが言えるのかを考えさせる。

これらのことを踏まえて、児童が興味・関心をもって自分で計画立てて学習を進めていくことができるよう、「身近な学習材」や「体験的な活動」を重視した学習活動を取り入れた。

(2) 児童観

昨年度、単元内自由進度学習（以下、マイプラン・タイム）に取り組み、どの児童も意欲的に取り組むことができ、自分で学びを進める力を伸ばした。3年生になって本単元の前に実施した国語の「こまを楽しむ」の単元で行ったマイプラン・タイムでも、真面目に取り組む児童が多く見られた。分からない課題に対しても、ヒントを基にしたり教師に質問したりと、自分なりに学習を進めることができている。マイプラン・タイムについてアンケートでは、「マイプラン・タイムの学習は楽しかったですか？」という質問に対して、9割の児童が「とてもそう思う」「そう思う」に回答している。理由としては多くが「自分のペースで学習を進められる」であった。しかし、学習に興味をもったり、学習内容そのものを楽しんだりすることに関する記述はなかった。

そこで本研究において、児童が学習内容に楽しく取り組める時間や興味をもてるテーマを設定した。理科の実験や仕事の秘密など、自分から興味をもって進められるよう学習環境を設定していく。また、本学年はマイプラン・タイム実施後の知識の定着に課題があるため、マイプラン・タイムに入る前の一斉指導で単元のゴールまでに身に付ける内容を確認するとともに、マイプラン・タイムでも知識の定着が図ることができるワークシートやヒント資料を充実させる。

5 本単元の学習の関連と発展

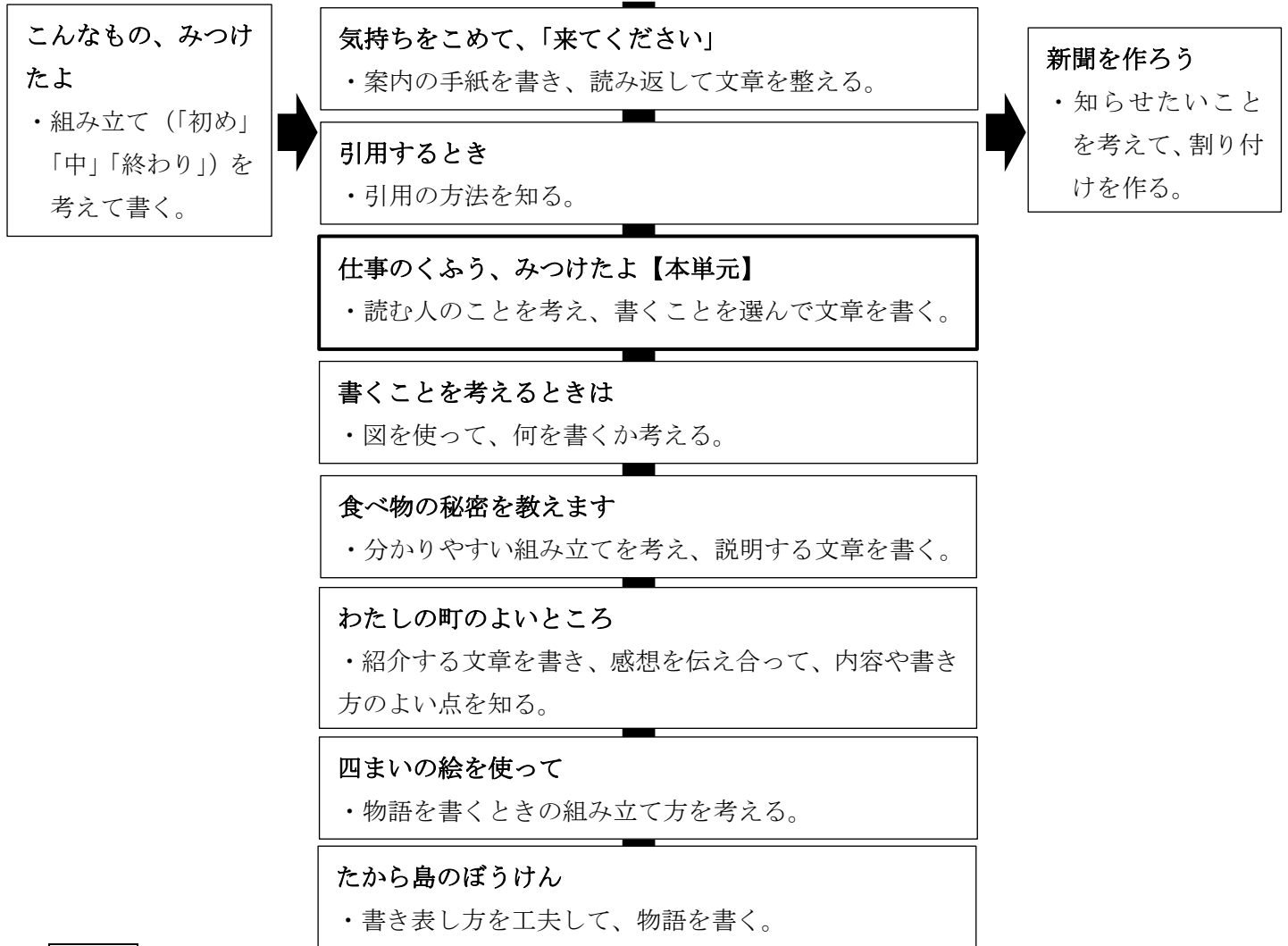
国語科

「仕事のくふう、みつけたよ」

【2年生】

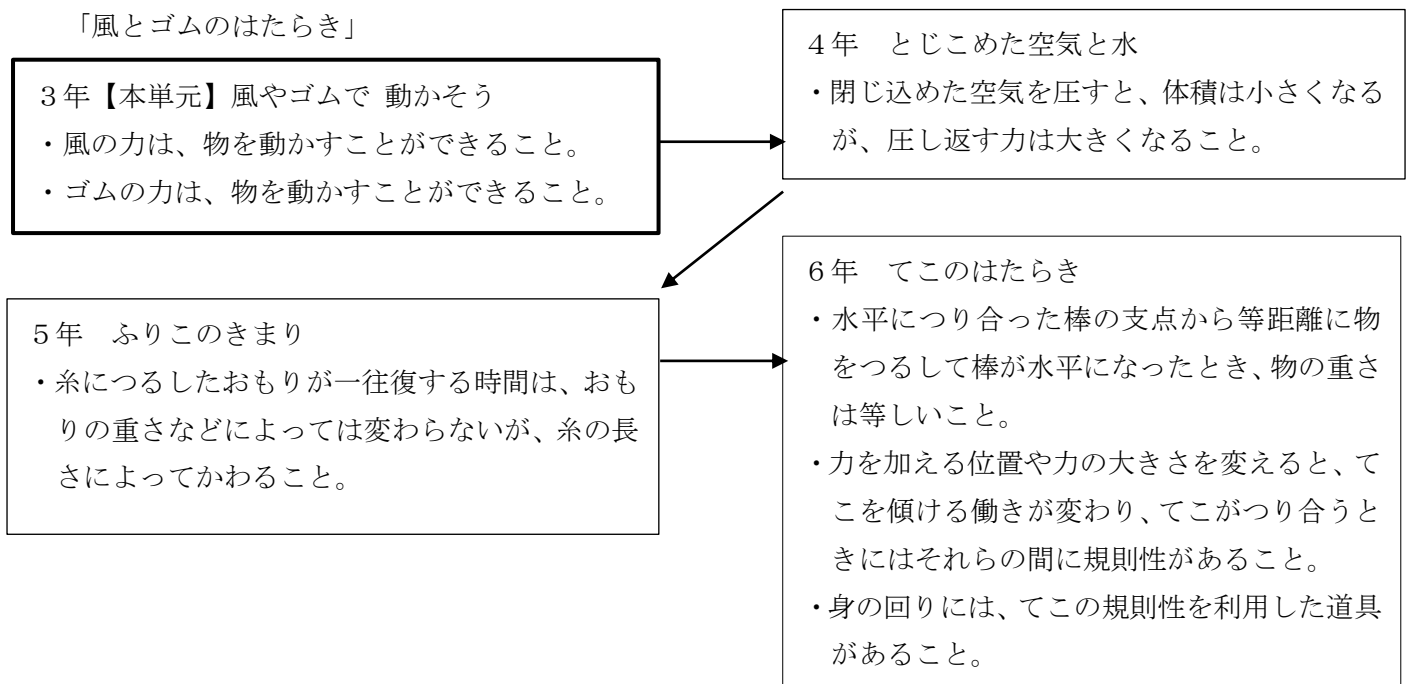
【3年生】

【4年生】



理科

「風とゴムのはたらき」



6 目指す児童像に迫るための手だて

中学年分科会 目指す児童像

自分に合った学び方を選択し、見通しをもって取り組むことができる児童

(1) 環境・教材の工夫

ア 本単元における知識・技能の定着に向けた取組

【国語】本単元の知識・技能は、「改行の仕方を理解して文章の中で使うこと」と「段落の役割を理解すること」である。この2点について、学習シートに書く際のヒントを明示したり、必ず全員が確認したりしてから活動に取り組めるような資料を準備する。

【理科】実験道具を正しく扱うために、事前に走らせ方や実験の注意点などを一斉の時間で確認する。また、学習の進め方などが分からなくなった際には、写真や動画などを見て確認できるように教室の環境を用意することで、正しく実験することができるようにする。

イ 空間や教材を確保するための工夫

【国語】2単元同時に行うこと、一クラスずつ展開することで、調べ学習に必要な数に限りのある図書資料を待つことなく、効率よく活用できると考える。

【理科】2単元同時に行うこと、一クラスずつ展開することで、風やゴムの力を利用した車を動かす活動を十分な空間で行うことができると考える。また、風の実験とゴムの実験、どちらから実験してもよいことにすることで、実験を待つことなく、納得のいくまで行うことができると考える。

(2) 学習過程の工夫

ア 見通しをもって学習意欲を持続させ、最後までやりきる力を付けるための工夫

【国語】単元の初めにゴール（目的）を示し、調査活動を行うことで、報告会につながっていくという活動を設定し、学びに向かう力や意欲の伸長につなげる。調査活動に向けて、学習シートをスパイの極秘情報ファイルを模した形態にすることや、事前にアンケートで集めた児童の興味のある職業についての資料を用意することで、他の児童や教師に知られていない情報を集めることに意欲的になることが期待できると考える。

【理科】単元の初めに、学習の流れを示す。実験の内容やパワーアップミッションの活動について、事前に知ること、実験やパワーアップミッションへの意欲を高める。どのように活動していくか見通しをもつことで、計画を立てやすくなり、学びに向かう力や学習意欲の伸長につなげる。

イ 選択肢を設定することで自己調整力の育成につなげる工夫

【国語】国語では、「調べる仕事」「伝える内容」「報告の仕方」と、学習過程の中で児童が自ら選択する場面を複数設ける。「報告の仕方」については、通常の報告書型のほか、低学年で学習した説明的な文章の学習を活かした、一日の様子を報告する「なりきり型」、珍しい道具などの用途を問う「クイズ型」など、三つの型を用意し、選択できるようにした。

【理科】理科では、風とゴムの実験を行う順序を選択できるようにした。

7 授業観察の視点

- 掲示物やヒントの動画、教科書等を自分に合った課題解決の方法として選択し、活用していたか。
- 自分で見通しをもち、学びを進められているか。

時		1	2 ～ 5	6																																	
形態		一斉	個別	一斉																																	
目標		・風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、風とゴムの働きについての問題を見いだし、表現することができる。 ・学習問題を捉え、学習の見通しをもって計画を立てることができる。	・風やゴムの力は、物を動かすことができること、また、風やゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること を理解するとともに、風とゴムの力の働きについて、器具や機器を正しく扱って観察、実験し、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録することができる。 ・風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、得られた結果を基に考察したことを表現することができる。	・風とゴムの働きについて理解し、友達が調べた発表を聞きながら、日常生活における活用や他の事物・現象との関連を考え、表現することができる。																																	
学習の流れ		1 車を動かしてみて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合う。風やゴムの働きについて問題を見いだす。 2 風やゴムの働きについて問題を見いだす。 3 学習の進め方を知る。 4 実験の方法を確認する。 5 自分の学習計画を立てる。	1 自分の計画を確認する。 2 マイプラン・タイム <div>学習マップ風とゴムのはたらき</div> <table><tr><th></th><th>ミッション</th><th>内容</th><th>・教科書</th><th>終わったら チェック✓</th></tr><tr><td>みんな</td><td>1</td><td>どのように車が動くかためしてみよう。 学習の進め方を知ろう。じっけんのやり方をかくにんしよう。</td><td>42、43 44、45 ページ</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">一人で</td><td>2</td><td>風の強さによって、物の動き方は、どのようにかわるのだろうか。</td><td>44～46 ページ</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>ゴムののばし方によって、物の動き方は、どのように変わるのだろうか。</td><td>47～50 ページ</td><td></td></tr><tr><td>チェック テスト</td><td>★かくにんプリント→自分で答え合わせ ★チェックテスト→先生にていしゅつ</td><td>51～52 ページ</td><td></td></tr><tr><td>一人または みんな</td><td>パワー アップ ミッション</td><td>・空気ほうで風の力を感じよう！（風） ・最強はだれだ！ 風ずもうにちょうせん！（風） ・高得点をめざせ！ ゴールインゲーム（ゴム） ・ゴムの力で空へ ゴム飛行機を作ってみよう。（ゴム） ・まわれ！カタカタこまちゃん！（ゴム）</td><td>52、53 ページ</td><td></td></tr><tr><td></td><td>みんな</td><td>・パワーアップミッションで学んだことを伝えよう。 ・学習をふりかえよう。</td><td></td><td></td></tr></table> 3 今日の学習を振り返り、マイプランシートに記入する。		ミッション	内容	・教科書	終わったら チェック✓	みんな	1	どのように車が動くかためしてみよう。 学習の進め方を知ろう。じっけんのやり方をかくにんしよう。	42、43 44、45 ページ		一人で	2	風の強さによって、物の動き方は、どのようにかわるのだろうか。	44～46 ページ		3	ゴムののばし方によって、物の動き方は、どのように変わるのだろうか。	47～50 ページ		チェック テスト	★かくにんプリント→自分で答え合わせ ★チェックテスト→先生にていしゅつ	51～52 ページ		一人または みんな	パワー アップ ミッション	・空気ほうで風の力を感じよう！（風） ・最強はだれだ！ 風ずもうにちょうせん！（風） ・高得点をめざせ！ ゴールインゲーム（ゴム） ・ゴムの力で空へ ゴム飛行機を作ってみよう。（ゴム） ・まわれ！カタカタこまちゃん！（ゴム）	52、53 ページ			みんな	・パワーアップミッションで学んだことを伝えよう。 ・学習をふりかえよう。			1 マイプラン・タイムや発展課題(パワーアップミッション)で学んだことを発表し合い、感想を伝える。 2 学習問題に対する風やゴムの働きについて、全体で確認する。 3 単元全体の学習を振り返り、マイプランシートに記入する。
	ミッション	内容	・教科書	終わったら チェック✓																																	
みんな	1	どのように車が動くかためしてみよう。 学習の進め方を知ろう。じっけんのやり方をかくにんしよう。	42、43 44、45 ページ																																		
一人で	2	風の強さによって、物の動き方は、どのようにかわるのだろうか。	44～46 ページ																																		
	3	ゴムののばし方によって、物の動き方は、どのように変わるのだろうか。	47～50 ページ																																		
	チェック テスト	★かくにんプリント→自分で答え合わせ ★チェックテスト→先生にていしゅつ	51～52 ページ																																		
一人または みんな	パワー アップ ミッション	・空気ほうで風の力を感じよう！（風） ・最強はだれだ！ 風ずもうにちょうせん！（風） ・高得点をめざせ！ ゴールインゲーム（ゴム） ・ゴムの力で空へ ゴム飛行機を作ってみよう。（ゴム） ・まわれ！カタカタこまちゃん！（ゴム）	52、53 ページ																																		
	みんな	・パワーアップミッションで学んだことを伝えよう。 ・学習をふりかえよう。																																			
評価の規準(評価の方法)	ア		・送風機や風で動く車を正しく扱いながら、車にあてる風の強さを変えて車の動き方を調べ、得られた結果を分かりやすく記録している。(観察、学習シート) ・風には物を動かす働きがあり、その大きさは、風が強くなるほど大きくなることを理解している。(観察、学習シート) ・ゴムで動く車を正しく扱いながら、ゴムの伸ばし方を変えて車の動き方を調べ、得られた結果を分かりやすく記録している。(観察、学習シート) ・ゴムには物を動かす働きがあり、その大きさは、ゴムを伸ばす力の大きさ長さを変えると、物が動く様子も変わること を理解している。(観察、学習シート)																																		
	イ	・風やゴムで動く車に興味をもち、車を動かす中で気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、風やゴムの働きについて調べる問題を見いだすことができる。 (学習シート)	・風とゴムの力で物が動く様子について追究する中で、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (観察、学習シート)																																		
	ウ	・学習問題を見いだす活動に進んで取り組んでいる。(観察)	・風とゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、問題解決しようとしている。(観察、学習シート)	・風とゴムの力の働きについて学んだことを、学習や生活に生かそうとしている。(学習シート、観察)																																	

時		1	2 ～ 6		7																																						
形態		一斉	個別		一斉																																						
目標		・様々な仕事に目を向け、相手や目的を意識して、調べたい仕事を選ぶことができる。 ・学習の進め方を知り、学習の見通しをもって、計画を立てることができる。	・文章の中で改行や句読点を適切に使うことができる。 ・伝える内容に合わせて、段落を分けることができる。 ・誰に、何を伝えたいかを考えながら、書くことを選ぶことができる。 ・事例と自分の考えを分けて書くことができる。		・報告する文章を読み合い、自分や友達の文章のよいところを見付けることができる。																																						
学習の流れ		1 学習の見通しをもつ。 仕事を調べ、その仕事の内容を調べ、あまり知られていない事柄を選んで友達に伝えるという学習内容を知る。	1 自分の計画を確認する。 2 マイプラン・タイム		1 めあてを確認する。																																						
		2 学習の進め方を知る。 ・調べたい仕事を選択する。 ・各自で調べる。 ・報告する文章の形式を選択する。 ・各自で文章を作成する。	<div><div>学習マップ</div><div>仕事のひみつをさがせ大作せん</div><table><tr><td></td><td>ミッ ション</td><td>内容</td><td>終わったら チェック✓</td></tr><tr><td>みんな</td><td>1</td><td>ロックオン！～気になる仕事～</td><td></td></tr><tr><td rowspan="6">ひとり</td><td>2</td><td>ミッケ！～仕事のひみつ～</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>セレクト～伝えたいこと～</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>あなたはどれ派～報告スタイル～</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>スタートダッシュ～「はじめ」を書こう～</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>ひみつをあばけ～「中」を書こう～</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>思いをこめて～「おわり」を書こう～</td><td></td></tr><tr><td>ひとり または みんな</td><td>8</td><td>まちがいさがし～文章を見直せ～</td><td></td></tr><tr><td>ひとり または みんな</td><td>パワー アップ</td><td>・ひみつリーフレットを完成せよ ・ひみつランキングベスト3 ・データ転送～スライド作成～</td><td></td></tr><tr><td>一斉</td><td>9</td><td>リンク～ひみつデータを交換せよ～</td><td></td></tr></table></div>			ミッ ション	内容	終わったら チェック✓	みんな	1	ロックオン！～気になる仕事～		ひとり	2	ミッケ！～仕事のひみつ～		3	セレクト～伝えたいこと～		4	あなたはどれ派～報告スタイル～		5	スタートダッシュ～「はじめ」を書こう～		6	ひみつをあばけ～「中」を書こう～		7	思いをこめて～「おわり」を書こう～		ひとり または みんな	8	まちがいさがし～文章を見直せ～		ひとり または みんな	パワー アップ	・ひみつリーフレットを完成せよ ・ひみつランキングベスト3 ・データ転送～スライド作成～		一斉	9	リンク～ひみつデータを交換せよ～	
	ミッ ション	内容	終わったら チェック✓																																								
みんな	1	ロックオン！～気になる仕事～																																									
ひとり	2	ミッケ！～仕事のひみつ～																																									
	3	セレクト～伝えたいこと～																																									
	4	あなたはどれ派～報告スタイル～																																									
	5	スタートダッシュ～「はじめ」を書こう～																																									
	6	ひみつをあばけ～「中」を書こう～																																									
	7	思いをこめて～「おわり」を書こう～																																									
ひとり または みんな	8	まちがいさがし～文章を見直せ～																																									
ひとり または みんな	パワー アップ	・ひみつリーフレットを完成せよ ・ひみつランキングベスト3 ・データ転送～スライド作成～																																									
一斉	9	リンク～ひみつデータを交換せよ～																																									
		3 調べたい仕事を決める。			3 互いの文章を読み合う。 ・感想を付箋に書いて伝え合う。																																						
		4 自分の学習計画を立てる。	3 今日の学習を振り返り、マイプランシートに記入する。		4 自分の文章のよいところを見付ける。 5 単元全体の学習を振り返り、マイプランシートに記入する。																																						
評価の規準（評価の方法）	ア		・改行の仕方を理解して文や文章の中で使っている。(学習シート) ・段落の役割について理解している。(学習シート)																																								
	イ		・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(観察、学習シート) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(学習シート)																																								
	ウ	・相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。 (発言、学習シート)	・進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。(発言、学習シート)		・報告する文章を書くことを通して、身に付いた力を確認したり、次に生かしたいことをまとめたりしようとしている。(観察、学習シート)																																						

理科「風やゴムのはたらき」（6時間） 学習環境の様子

